

## 国公私：単位互換用授業科目一覧

大学名：名城大学

2026(令和8)年度 後期 単位互換授業科目

曜日	時限	授業科目名	単位数	担当教員名	教室	備考
水	3	コーポレート・ファイナンス研究	2	田澤 宗裕	タワー75(9階)905教室	※後期授業開始日:9月14日(月)～【注】

※正規学生(本学学生)の履修者数等によっては、授業科目を開講しない場合や履修できない場合もありますので、ご了承ください。

【注】 本学での授業は、原則として半期(前期／後期)で対面授業14回＋遠隔授業1回(オンデマンド)を実施いたします。  
対面授業日の初回は、コーポレート・ファイナンス研究(後期:水曜3限)が9月23日[祝日講義日]となります。  
授業日程は添付の名城大学カレンダーで、各科目の授業計画(遠隔授業の学修期間や内容等)はシラバスで、必ず確認してください。

### 授業時間帯

【1時限】 9:10～10:40

【2時限】 10:50～12:20

【3時限】 13:10～14:40

【4時限】 14:50～16:20

【5時限】 16:30～18:00

【6時限】 18:10～19:40

【7時限】 19:50～21:20

時間割番号	720508
科目名	コーポレート・ファイナンス研究
科目名(英字)	Corporate Finance
担当者氏名	田澤 宗裕
対象研究科・専攻	経営学研究科経営学専攻修士課程
講義学期	後期
単位数	2

準備学習・事後学習	日頃から新聞やビジネス雑誌等のメディアで企業財務に関する情報をチェックし、企業財務全般に対して広く関心を持つようにすること。授業後には、毎回、2時間程度、指定範囲を復習するとともに、次回の内容について、毎回、2時間程度予習し、授業におけるディスカッションの準備をしておくこと。																			
授業の概要と目的	企業の財務的意思決定の考え方、そして、その在り方について考察する。講義では、まず、企業の最適資本構成、合併・買収(M&A)およびペイアウト政策などのテーマについて学ぶ。次に、講義テーマに関する研究論文を講読し、企業財務に関する知識を深める。 なお、授業内容については、受講生の興味・関心や理解度等に応じて、受講生に相談の上、一部変更する場合がある。																			
該当するCP(カリキュラム・ポリシー)およびDP(ディプロマ・ポリシー)	本授業はCP1・3・4およびDP2・3に該当する。																			
科目ナンバリングコード	GBB11213																			
到達目標	企業の財務的意思決定に関する各トピックの基本的内容を理解し、説明することができる。こうした知識を使用して、企業の財務的意思決定について論評することができる。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【項目欄】</th> <th>【内容欄】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>【遠隔授業】データベースの利用方法 *本授業回は遠隔授業で実施する。WebClassに授業動画と講義資料等を提示する。学修期間は9月14日から10月13日までとする。</td> <td>名城大学で利用可能な財務関連データベース(NEEDS Financial Quest、eol等)の利用方法について説明</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>企業財務(コーポレート・ファイナンス)とは</td> <td>コーポレート・ファイナンスの概要、貨幣の時間価値、複利計算と現在価値への割引計算</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>割引キャッシュ・フロー法</td> <td>正味現在価値法、投資案の採否、リスクを考慮した現在価値の計算方法、リスク調整割引率法</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>正味現在価値と株式価値の最大化</td> <td>資本コスト、残余配当アプローチによる株式価値、会社配当と自家製配当、配当政策と株式価値の関係</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>レバレッジと資本コスト</td> <td>自己資本利益率(ROE)、レバレッジ効果、ビジネス・リスクとファイナンシャル・リスク</td> </tr> </tbody> </table>	番号	【項目欄】	【内容欄】	1.	【遠隔授業】データベースの利用方法 *本授業回は遠隔授業で実施する。WebClassに授業動画と講義資料等を提示する。学修期間は9月14日から10月13日までとする。	名城大学で利用可能な財務関連データベース(NEEDS Financial Quest、eol等)の利用方法について説明	2.	企業財務(コーポレート・ファイナンス)とは	コーポレート・ファイナンスの概要、貨幣の時間価値、複利計算と現在価値への割引計算	3.	割引キャッシュ・フロー法	正味現在価値法、投資案の採否、リスクを考慮した現在価値の計算方法、リスク調整割引率法	4.	正味現在価値と株式価値の最大化	資本コスト、残余配当アプローチによる株式価値、会社配当と自家製配当、配当政策と株式価値の関係	5.	レバレッジと資本コスト	自己資本利益率(ROE)、レバレッジ効果、ビジネス・リスクとファイナンシャル・リスク	
番号	【項目欄】	【内容欄】																		
1.	【遠隔授業】データベースの利用方法 *本授業回は遠隔授業で実施する。WebClassに授業動画と講義資料等を提示する。学修期間は9月14日から10月13日までとする。	名城大学で利用可能な財務関連データベース(NEEDS Financial Quest、eol等)の利用方法について説明																		
2.	企業財務(コーポレート・ファイナンス)とは	コーポレート・ファイナンスの概要、貨幣の時間価値、複利計算と現在価値への割引計算																		
3.	割引キャッシュ・フロー法	正味現在価値法、投資案の採否、リスクを考慮した現在価値の計算方法、リスク調整割引率法																		
4.	正味現在価値と株式価値の最大化	資本コスト、残余配当アプローチによる株式価値、会社配当と自家製配当、配当政策と株式価値の関係																		
5.	レバレッジと資本コスト	自己資本利益率(ROE)、レバレッジ効果、ビジネス・リスクとファイナンシャル・リスク																		

授業計画

6.	投資家の要求収益率と資本コスト	株主と負債権者の要求収益率、加重平均資本コスト
7.	モジリアーニ・ミラー (MM) の定理 ( 1 )	MMの第 1 命題と第 2 命題
8.	モジリアーニ・ミラー (MM) の定理 ( 2 )	最適資本構成の問題
9.	ペイアウト政策 ( 1 )	MMの配当理論、配当政策の効果
10.	ペイアウト政策 ( 2 )	自社株買いとは、自社株買いの効果
11.	企業のM&A ( 1 )	M&Aとは何か、M&Aの分類、M&Aのメリットとデメリット、友好的M&Aと敵対的M&A
12.	企業のM&A ( 2 )	株式公開買付け ( TOB )、敵対的買収防衛策、レバレッジド・バイアウト ( LBO )、マネジメント・バイアウト ( MBO )
13.	研究論文講読 ( 1 )	担当者を割り当て、授業テーマに関する研究論文を講読する。
14.	研究論文講読 ( 2 )	担当者を割り当て、授業テーマに関する研究論文を講読する。

	15.	研究論文講読(3)	担当者を割り当て、授業テーマに関する研究論文を講読する。																								
授業方法の形式	演習・輪読形式 授業連絡、資料配布等については、WebClassを活用する場合がありますので、確認を怠らないこと。																										
授業の実施方法	対面授業																										
成績評価方法	授業への取り組み姿勢20%、発言頻度20%、輪読における報告内容60% 発表や課題については、授業内で継続的にコメントの提示や質問対応等を実施する。																										
成績評価基準	C(合格)となるためには、到達目標を最低限達成することが必要である。																										
その他(履修条件・関連科目など)	「インベストメント・マネジメント研究」を履修していることが望ましい。																										
テキスト	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【書籍名】</th> <th>【著者】</th> <th>【出版社】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>受講生と相談の上、決定する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】	1.	受講生と相談の上、決定する。			2.				3.				4.				5.			
番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】																								
1.	受講生と相談の上、決定する。																										
2.																											
3.																											
4.																											
5.																											
参考資料文献等	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【書籍名】</th> <th>【著者】</th> <th>【出版社】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>新・現代の財務管理</td> <td>榊原茂樹・新井富雄・太田浩司・山崎尚志・山田和郎・月岡靖智</td> <td>有斐閣アルマ</td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td>コーポレート・ファイナンス 基礎と応用</td> <td>新井富雄・高橋文郎・芹田敏夫</td> <td>中央経済社</td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td>ゼミナール コーポレートファイナンス</td> <td>朝岡大輔・砂川伸幸・岡田紀子</td> <td>日本経済新聞出版</td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td>コーポレート・ファイナンス</td> <td>リチャード・A・ブリー、スチュワート・C・マイヤーズ、フランクリン・アレン</td> <td>日経BP</td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td>コーポレートファイナンス</td> <td>ジョナサン・パーク、ピーター・ディマーズ</td> <td>丸善出版</td> </tr> </tbody> </table>			番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】	1.	新・現代の財務管理	榊原茂樹・新井富雄・太田浩司・山崎尚志・山田和郎・月岡靖智	有斐閣アルマ	2.	コーポレート・ファイナンス 基礎と応用	新井富雄・高橋文郎・芹田敏夫	中央経済社	3.	ゼミナール コーポレートファイナンス	朝岡大輔・砂川伸幸・岡田紀子	日本経済新聞出版	4.	コーポレート・ファイナンス	リチャード・A・ブリー、スチュワート・C・マイヤーズ、フランクリン・アレン	日経BP	5.	コーポレートファイナンス	ジョナサン・パーク、ピーター・ディマーズ	丸善出版
番号	【書籍名】	【著者】	【出版社】																								
1.	新・現代の財務管理	榊原茂樹・新井富雄・太田浩司・山崎尚志・山田和郎・月岡靖智	有斐閣アルマ																								
2.	コーポレート・ファイナンス 基礎と応用	新井富雄・高橋文郎・芹田敏夫	中央経済社																								
3.	ゼミナール コーポレートファイナンス	朝岡大輔・砂川伸幸・岡田紀子	日本経済新聞出版																								
4.	コーポレート・ファイナンス	リチャード・A・ブリー、スチュワート・C・マイヤーズ、フランクリン・アレン	日経BP																								
5.	コーポレートファイナンス	ジョナサン・パーク、ピーター・ディマーズ	丸善出版																								
参考URL	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>【表示名】</th> <th>【URL】</th> <th>【説明】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td>特になし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	【表示名】	【URL】	【説明】	1.	特になし			2.				3.											
番号	【表示名】	【URL】	【説明】																								
1.	特になし																										
2.																											
3.																											
更新日時	2025/12/17 12:55:58																										



## 説明資料

### 名城大学カレンダー（学年暦）の見方

#### 1. 名城大学カレンダー（学年暦）の種類

No.	学部生	大学院	対 象
(1)	○	—	天白キャンパス全学部、 ナゴヤドーム前キャンパス全学部 教職・学芸員課程受講者用
(2)	—	○	大学院生用
(3)	○	—	八事キャンパス 1年生用
(4)	○	—	八事キャンパス 2. 3年生用

#### 2. 対面授業と遠隔授業

原則 15回（半期）の授業のうち、14回（①～⑭）は対面授業（※1）で実施

15回（半期）の授業のうち1回の遠隔授業（オンデマンド）※2で実施

※1：「対面授業」は、主に教室等において対面で授業を実施。

※2：「遠隔授業（オンデマンド）」：あらかじめ録画された授業動画等を、学生が、指定された学修期間内に視聴する形で授業を実施。

#### 3. 対面授業と遠隔授業の表記の説明について

(1) 授業回数 ①～⑭ ○の中の数字は、対面授業①～⑭の回数を示します。

(2) 遠隔授業期間 = 遠

遠は、遠隔授業（オンデマンド）期間です、いずれかで、遠隔授業（オンデマンド）を実施します。

【前期】 学期開始時（前半）4月6日（月）、4月7日（火）、4月8日（水）、4月9日（木）

学期終了時（後半）7月17日（金）、7月18日（土）

【後期】 学期開始時（前半）9月14日（月）、9月15日（火）、9月16日（水）

学期終了時（後半）（令和9年）1月6日（水）、1月7日（木）、1月8日（金）

ただし、遠隔授業期間以外に遠隔授業（オンデマンド）を実施する場合があるのでシラバスで確認し、指示がある場合はそれに従ってください。

(3) 補講日 = 遠・補

補講を対面授業で実施する場合があります。遠隔授業（オンデマンド）で15回目の授業を実施します。

【前期】：令和8年（2026年）7月17日（金）、18日（土）

【後期】：令和9年（2027年）1月6日（水）、7日（木）、8日（金）

(4) 行事の略号

略語＝行事名

- ・入学式＝入学式 4月3日
- ・オリ＝新入生オリエンテーション 4月3日（午後）～4日
- ・遠 遠隔授業期間（オンデマンド）を実施（例）（前半）4月6日～9日
- ・祝日講義日（国民の祝日で講義がある日）（例）29④（赤の数字）4月29日（水）昭和の日
- ・補＝補講日
- ・試＝定期試験を実施 前期：7月24日～30日
- ・（試）＝一部の科目について、定期試験を実施する場合があります。（例）7月31日～8月3日
- ・予＝試験の予備日 8月4日
- ・夏＝窓口閉鎖期間 8月8日～17日
- ・祭＝大学祭 10月29日～11月1日

(5) その他

①大学行事等の具体的な日程については、決まり次第、周知します。

例）追・再試験（予備日）、9月卒業式、卒業式、次年度在学生ガイダンスなど。

②都合により日程が変更になる場合があります。変更がある場合は学務システム統合ポータルサイトや掲示等にて連絡します。